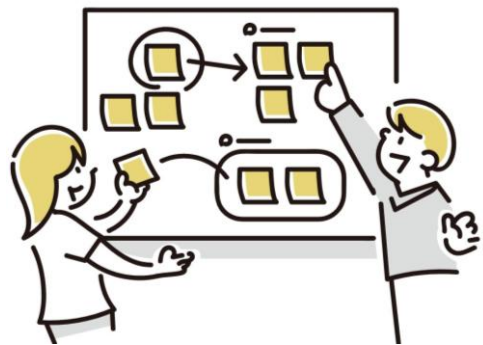


令和8年度  
シラバス  
～学習の手引き～  
〈 1 学年 〉



北海道静内農業高等学校

## 校 訓

# 自 尊 独 立

開校式辞の中で、本校生徒としてこれから学業に励むための基本姿勢として「自分のことは自分で処理する」ことを強く訴えました。当たり前のことですが、なかなかできないことです。誰かがやらなければならないことがあるとするならば、進んで自分がそれに当たろうとする心の姿勢が大切なのです。苦しくとも辛くとも、正しいこと、心の糧となることは歯を食いしばってでも、自分でやりとげる姿勢をもってほしい。本校3カ年の生活で是非そうした心の姿勢を学び取ってほしいと述べました。

校訓、「自尊独立」は、諸君たち一人一人の心の姿勢を求めているのです。諸君は、やがて社会人・職業人となるのです。諸君を信頼するに足る得難い人材とするのは、この心の姿勢であります。

〔北海道静内農業高等学校初代校長 清水小十先生の落成式挨拶より抜粋〕

## 校 章



この校章は昭和16年、北海道庁立静内農業学校が創立したときにつくられたものです。昭和23年学制改革により、校名変更に伴い校章も変りました。

その後、昭和53年、本校が北海道静内農業高等学校として、北海道静内高等学校からの分離独立に際し、本校の源流を表わすにふさわしい校章として再び制定されました。

- 1 農の一字をかこみ内に向い対にある稲穂は生徒一人一人の充実した成長を期待し、互いの協力により豊かな結実をもたらす農業のイメージを表しています。
- 2 星は銀色に輝き未来への希望を表しています。北の空に輝く星のように自分の目標をしっかりとち、それに向かい着実にすすむ意欲あふれる生徒を期待しています。

# 目 次

## Ⅰ 学年

### 【学科共通】

現 代 の 国 語	・ ・ ・ ・ ・	I - 0 1
公 共	・ ・ ・ ・ ・	I - 0 2
数 学 I	・ ・ ・ ・ ・	I - 0 3
生 物 基 礎	・ ・ ・ ・ ・	I - 0 4
体 育	・ ・ ・ ・ ・	I - 0 5
保 健	・ ・ ・ ・ ・	I - 0 6
書 道 I	・ ・ ・ ・ ・	I - 0 7
英語コミュニケーション I	・ ・ ・ ・ ・	I - 0 8
家 庭 総 合	・ ・ ・ ・ ・	I - 0 9
産 業 社 会 と 人 間	・ ・ ・ ・ ・	I - 1 0
農 業 と 情 報	・ ・ ・ ・ ・	I - 1 1
農業と環境（食品科学科）	・ ・ ・ ・ ・	I - 1 2
農業と環境（生産科学科）	・ ・ ・ ・ ・	I - 1 3
総合実習（時間内）	・ ・ ・ ・ ・	I - 1 4
総合実習（時間外）	・ ・ ・ ・ ・	I - 1 5

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
現代の国語	2	1年食品科学科 1年生産科学科	大修館 新編 現代の国語	いっずな書店 意味で覚えて 漢字を知る 漢トレ 漢字検定5級～2級

### 1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	4	○内容や構成，論理の展開を的確にとらえ，本文の内容を把握しよう。 ・コミュニケーションは技術だ	○	○	○	【知】:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思】:文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
5	3	○文章の種類を把握し，わかりやすい文体や語句の使い方を理解しよう。 ・言葉の使い分け	○	○	○	【知】:言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思】:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう，根拠の示し方や説明の仕方考えとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫している。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
	3	○表記・表現のルールを理解し，読み手に分かりやすい文章を書こう。 ・正しく書こう	○	○	○	【知】:常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 【思】:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう，根拠の示し方や説明の仕方考えとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫している。 【態】粘り強く根拠の示し方や説明の仕方考える過程の中で，自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
6	7	○文の接続の仕方を理解し，自分の考えがわかりやすく伝わる文を書こう。 ・文を整え，文をつなぐ	○	○	○	【知】:文，話，文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 【思】:読み手の理解が得られるよう，論理の展開，情報の分量や重要度などを考えて，文章の構成や展開を工夫している。 【態】粘り強く論理の展開，情報の分量や重要度などを考える過程の中で，自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
7	4	○内容のまとまりを工夫し，伝わりやすい話し方をしよう。 ・伝わるように話そう	○	○	○	【知】:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思】:話し言葉の特徴を踏まえて話したり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【態】粘り強く話し言葉の特徴を踏まえて話したり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりする過程の中で，自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
8	3	○文章に含まれている図表等の情報を関連付けて，内容を解釈しよう ・打ち言葉/慣用表現の意味/言葉遣いに対する意識	○	○	○	【知】:語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】:目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9	8	○自分の説明が正確に伝わるように、文体・語句・表現の仕方を工夫して文を書こう。 ・ナンバーワンか、オンリーワンか ○目的に応じて書かれているか確認し、文章全体を整えよう。 ・絵や写真を説明しよう	○	○	○	【知】:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思】:目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。 【態】粘り強く、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直そうとしている過程の中で、自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
10	6	○必要な情報を整理しながら聞き取りを行おう。 ・聞き取りのレッスン ・ミニインタビューをしよう ・聞き取ったことをまとめよう	○	○	○	【知】:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思】:目的や意図を確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。 【態】粘り強く、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直そうとしている過程の中で、自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
11	6	○目的、種類、状況に応じた話の仕方や結論の出し方を身につけよう。 ・オカピの胃袋はいくつか ・水の東西	○	○	○	【知】:実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思】:論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 【態】粘り強く、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている過程の中で、自らの学習を調整している。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
12	8	○話の内容や構成、表現の仕方に注意しながら相手の話を聞き取ろう。 ・対話のレッスン ・テーマを決めて話し合おう	○	○	○	【知】:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思】:自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【態】粘り強く、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫しようとしている過程の中で、自らの学習を調整している。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
1	6	○目的に応じて適切な題材を集め、伝えたいことを明確にした文を書こう。 ・意見文の基礎を学ぼう ・反対意見を想定した意見文を書こう	○	○	○	【知】:引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 【思】:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 【態】粘り強く、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている過程の中で、自らの学習を調整している。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
2	6	○読み手からの助言をもとに自分の文章の特長や課題を捉える。 ・魅力的な企画書を書こう	○	○	○	【知】:推論の仕方を理解し使うことができる。 【思】:目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【態】粘り強く、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直そうとしている過程の中で、自らの学習を調整しようとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト
3	6	○文章の論理を評価し、自分の考えを深める。 ・情報を吟味しながら読もう ・情報の力関係	○	○	○	【知】:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思】:自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【態】粘り強く、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫しようとしている過程の中で、自らの学習を調整している。	・行動観察 ・ワークシート ・単元テスト

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
公共	2	1年食品科学科 1年生産科学科	高等学校 公共 (教育図書)	高等学校 公共 ワークノート

### 1 科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有益な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。□

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	1	オリエンテーション					
4	5	単元A:公共の扉 1部「私たちはどのようにおとなになるのだろうか？」 1:おとなと子どもの違いとは何か？ 2:納得できない気持ちはどうぶつけばいいのか？ 3:どんなおとなに自分はなりたいたいか？ 4:単元のまとめ	○	○	○	【知】:自らの体験などを振り返ることを通じて、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思】:社会の多様性と共通性などに着目して、社会に参画する自立した主体とは、他者との協働により当事者として公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】:公共的な空間における人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
4	1	2部「公共空間において求められる判断は何か？」				【知】:選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思】:幸福、正義、公正などに着目して、倫理的価値の判断において、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】:よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
5	3	1:多数決で物事をすべて判断してもいいのか？ 2:日本は電気代を値上げするべきか？ 3:デザイナーペイビーは認めるべきか？ 4:単元のまとめ	○	○	○		
5	4	3部「生徒会の予算をどう分配するべきか？」 1:みんな均一にすることが平等になるのか？ 2:成果至上主義は正しいのか？ 3:なぜ最低限の保障が必要なのだろうか？ 4:単元のまとめ	○	○	○	【知】:人間としての尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的な原理について理解している。 【思】:幸福、正義、公正などに着目して、倫理的価値の判断において、自らも他者と共に納得できる解決方法を多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】:よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
6	8	単元B:現代社会の諸課題 1部「裁判員として求められる判断はどのようなものだろうか？」 1:法的根拠のないルールは認められないのか？ 2:黒歴史は忘れられるべきだろうか？ 3:法律上の「責任」とはどのようなものだろうか？ 4:裁判員として有罪・無罪をどのように判断すればいいのか？ 5:単元のまとめ	○	○	○	【知】:法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を基に、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思】:政治、経済などの側面を関連させ、課題の解決に向けて事実を基に考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。 【態】:よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
7	4	2-1部「転売ヤーはどのようにしたら規制されるだろうか？」 1:身の回りにあるものの価値はどうすればつくのか？ 2:不正転売で適正な価値はなぜつかないのか？ 3:単元のまとめ	○	○	○	【知】:市場経済の機能と限界などに関わる現実の諸課題を基に、活発な経済活動が及ぼす影響や価値を理解している。 【思】:法、政治などの側面を関連させ、課題の解決に向けて考察したことを論拠をもって表現している。 【態】:よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
7 8	2 4	2-2部「私たちはなぜ働くのだろうか？」 1: AIの登場によって、求められていることは何だろうか？ 2: AIにはない人間の持っている価値とは何だろうか？ 3: メンバーシップ型とジョブ型のどちらが理想か？ 4: 単元のまとめ	○	○	○	【知】: グローバル化や人工知能の進化が職業選択に及ぼす影響やを理解している。 【思】: 仕事と生活の調和がとれるような働き方や、社会の変化が及ぼす新たな労働の価値観などを考察したことを論拠をもって表現している。 【態】: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
9	6	2-3部「社会保障はどの程度必要だろうか？」 1: 学校給食は必要だろうか？ 2: 年金は積立金にするべきだろうか？ 3: 社会保障の財源はどこからまかなうべきだろうか？ 4: 単元のまとめ	○	○	○	【知】: 財政がもつ役割や、我が国の社会保障制度の現状と課題などを理解している。 【思】: 自助、共助及び公助が最も適切に組み合わせられるようにするにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
9 10	2 4	2-4部「貯蓄と投資はどちらの方がメリットがあるのだろうか？」 1: 銀行はどのようにして利益を出しているのだろうか？ 2: 投資家にとって良い企業とがどのような企業だろうか？ 3: 自分であればどのような企業に投資するだろうか？ 4: 単元のまとめ	○	○	○	【知】: 金融は資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 【思】: 投資をするに当たって、どのような企業が成長可能性が大きく、社会をよりよくするのかを考察し、論拠を持って表現している。 【態】: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
10 11	4 2	2-5部「不当な格差をなくすための最善策は何だろうか？」 1: イギリスのEU離脱は正しかったのだろうか？ 2: 多様性の理解は格差は正につながるのか？ 3: 不当な格差をなくすための最善策は何だろうか？ 4: 単元のまとめ	○	○	○	【知】: 国際経済問題の解決には国家や国際機関など多様な組織が協力していくことが重要であると理解している。 【思】: 国際経済問題の解決のためにできることを多面的・多角的な視点から考察し、論拠をもって表現することができる。 【態】: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
11	6	3-1部「選挙ではどのような根拠をもって投票するべきなのか？」 1: 選挙制度が複数あるのはなぜなのだろうか？ 2: 様々な情報を比較することはなぜ大切なのか？ 3: 模擬選挙を通して根拠をもった投票をしてみよう 5: 単元のまとめ	○	○	○	【知】: 主権者として選挙によって、社会参画をどのようにすればいいのか、また選挙がもっている役割について理解している。 【思】: 法、経済などの側面を関連させ、課題の解決に向けて考察したことを論拠をもって表現している。 【態】: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
12	6	3-2部「難民の問題を解決するためには何ができるか？」 1: 難民が抱える問題には何があるのか？ 2: なぜ国際問題は解決しづらいのか？ 3: 難民を救済するために何ができるか？ 4: 単元のまとめ	○	○	○	【知】: 国際社会における我が国の役割に関わる現実社会の課題を基に、諸課題の解決には意見や利害の対立状況を調整して合意形成をすることが大切であると理解している。 【思】: 法、経済などの側面を関連させ、課題の解決に向けて考察したことを論拠をもって表現している。 【態】: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・予習テスト、ワーク(知) ・配布課題(思) ・ファイル、振り返りシート(態)
1 ～ 3	10	単元C「持続可能な社会へ」 1: 問いの設定 2: 仮説設定・調査 3: 資料作成 4: グループ発表		○	○	【思】: 共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【態】: 持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・レポート(思) ・ファイル、振り返りシート(態)

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
数学 I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編数学Flex (実教出版)	ラウンドノート数学I+A (実教出版)

### 1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	16	1章 数と式				【知】:二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算することができる。  【思】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形することができる。  【態】:事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
		1節 式の計算 1 整式とその加法・減法 2 整式の乗法 3 因数分解	○	○	○		
5	8	2節 実数				【知】:数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。  【思】:一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。  【態】:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
		1 実数 2 根号を含む式の計算	○				
6	8	3節 1次不等式				【知】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。  【思】:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。  【態】:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
		1 不等号と不等式 2 不等式の性質 3 1次不等式	○	○	○		
7	10	2章 集合と論証				【知】:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。  【思】:集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる	行動観察 ワークシート 単元テスト
		1 集合 2 命題と条件 3 逆・裏・対偶	○	○			
8	10	3章 2次関数				【知】:二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。  【思】:二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。	行動観察 ワークシート グラフシート 単元テスト
		1節 2次関数とそのグラフ 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ	○	○			

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9	8	3章 二次関数 1節 二次関数とそのグラフ 3 二次関数の最大・最小 4 二次関数の決定	○	○		【知】:二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思】:二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	行動観察 ワークシート 単元テスト
	10	2節 二次方程式と二次不等式 1 二次関数のグラフと二次方程式 2 二次関数のグラフと二次不等式	○			【知】:二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 【知】:二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【態】:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
	10	4章 図形と計量 1節 三角比 1 三角比 2 三角比の性質 3 三角比の拡張	○	○		【知】:鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 【知】:三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 【知】:鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 【思】:図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。	行動観察 ワークシート 単元テスト
11	10	2節 三角比と図形の計量 1 正弦定理 2 余弦定理 3 三角形の面積 4 空間図形の計量	○			【知】:正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 【知】:正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【態】:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
	12	5章 データの分析 1節 データの整理 1 度数分布 2 代表値 3 四分位数と四分位範囲		○	○	【思】:データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 【態】:事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
12	6	2節 データの分析 1 分散と標準偏差 2 データの相関 3 データの外れ値 4 仮説検定の考え方			○	【知】:分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 【知】:コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 【知】:具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。	行動観察 ワークシート 単元テスト
	9		○	○	○	【思】:目的に応じて、複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 【態】:事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
生物基礎	2	1年 食品科学科 1年 生産科学科	改訂 新編 生物基礎 (東京書籍)	改訂 ニューアチーブ 生物基礎

### 1 科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う

- ①生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。
- ②生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に、記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する力を養う。
- ③生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 5	20	1編 生物の特徴  ・生物の多様性と共通性	○	○	○	【知】:生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し、知識を身に付けようとしている。  【思】:生物は多様であっても、共通の性質や構造があることを考察し、導き出した考えを表現できる。  【態】:生物の共通性と多様性について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	ワークシート 単元テスト
		・生命活動とエネルギー	○	○	○	【知】:生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けようとしている。  【思】:光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられ、呼吸によって有機物からエネルギーが取り出されることを考察し、導き出した考えを表現できる。  【態】:細胞とエネルギーの関わりに関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	ワークシート 単元テスト
6 ～ 8	20	2編 遺伝子とそのはたらき  ・生物と遺伝子	○	○	○	【知】:遺伝情報を担う物質としてDNAの特徴について理解し、知識を身に付けようとしている。  【思】:DNAの構造が遺伝情報を担い得る特徴を持つことを考察し、導き出した考えを表現できる。  【態】:遺伝情報を担う物質について、生物学の歴史と合わせ、意欲的に探究しようとしている。	ワークシート 単元テスト
		・遺伝情報の分配	○	○	○	【知】:DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解し、知識を身に付けようとしている。  【思】:体細胞分裂前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現できる。  【態】:遺伝情報の分配について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	ワークシート 単元テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
9		・遺伝情報とタンパク質の合成	○	○	○	<p>【知】:DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し, 知識を身に付けようとしている。</p> <p>【思】:タンパク質の合成について, DNAの塩基配列がアミノ酸に置き換えられることについて考察し, 導き出した考えを表現できる。</p> <p>【態】:遺伝情報とタンパク質の合成について関心をもち, 意欲的に探究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト
9 ～ 11	15	3編 生物の体内環境の維持 ・体内環境の維持	○	○	○	<p>【知】:体内環境が保たれていることを理解し, 知識を身に付けようとしている。</p> <p>【思】:生物の体内環境が保たれていることを考察し, 導き出した考えを表現できる。</p> <p>【態】:体内環境について関心をもち, 意欲的に探究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト
		・体内環境を保つしくみ	○	○	○	<p>【知】:体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し, 知識を身に付けようとしている。</p> <p>【思】:動物の体液の濃度が自律神経とホルモンの作用により調節されている仕組みを考察し, 導き出した考えを表現できる。</p> <p>【態】:体内環境の維持の仕組みについて関心をもち, 意欲的に探究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト
		・体内環境を守るしくみ	○	○	○	<p>【知】:免疫とそれに関わる細胞のはたらきについて理解し, 知識を身に付けようとしている。</p> <p>【思】:免疫にかかわる疾患について, 免疫のしくみと連動させながら考察し, 表現しようとしている。</p> <p>【態】:免疫について関心をもち, 意欲的に探究している。</p>	ワークシート 単元テスト
12 ～ 3	15	4編 生物の多様性と生態系 ・植生の多様性	○	○	○	<p>【知】:陸上には様々な植生がみられ, 植生は長期的に移り変わっていくことを理解し, 知識を身に付けようとしている。</p> <p>【思】:植生の遷移がどのように進行しているのかを, 土壌と光環境の変化から思考しようとしている。</p> <p>【態】:植物と遷移について関心をもち, 意欲的に探究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト
		・気候とバイオーム	○	○	○	<p>【知】:気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解し, 知識を身に付けようとしている。</p> <p>【思】:気象とバイオームについて考察し, 導き出した考えを表現できる。</p> <p>【態】:気象とバイオームについて関心をもち, 意欲的に探究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト
		・生態系とその保全	○	○	○	<p>【知】:生態系では物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解し, 知識を身に付けようとしている。</p> <p>【思】:生態系において物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが移動することを考察し, 導き出した考えを表現できる。</p> <p>【態】:生態系の保全について, 自らができる事について関心をもち, 意欲的に探究しようとしている。</p>	ワークシート 単元テスト

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
体育	2	1年 食品科学科 1年 生産科学科	なし	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート(大修館書店)

### 1 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成すること。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についての理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	5	・体づくり運動 ア、体ほぐしの運動 イ、実生活に生かす運動の計画 評価観点→【知】:知識・運動	○	○	○	【知】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てている。 【思】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【態】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート
5 ～ 6	7	・球技 ベースボール型 ソフトボール	○	○	○	※1 球技 【知・技】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開している。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【態】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート
	7	・器械運動 マット運動 跳び箱運動	○	○	○	※2 器械運動 【知・技】技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技している。 【思】技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【態】自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
7	5	・夏季球技大会	○	○	○	※1 球技 の通り	観察 ワークシート
8 ～ 9	7	・陸上競技  短距離走、長距離走、走り幅跳び、走り高跳び、砲丸投げ	○	○	○	【知・技】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、事故に適したペースで走ることができている。 【思】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【態】自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	観察 ワークシート
10 ～ 11	7	・球技 ネット型 バレーボール	○	○	○	※1 球技 の通り	観察 ワークシート
	7	・ダンス 現代的なリズムのダンス	○	○	○	【知・技】感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用具、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表ができる。 【思】表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【態】自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができている。	
12	5	・冬季球技大会	○	○	○	※1 球技 の通り	観察 ワークシート
1 ～ 3	7	・球技 ゴール型 バレーボール	○	○	○	※1 球技 の通り	観察 ワークシート
	7	・球技 ネット型 卓球	○	○	○	※1 球技 の通り	観察 ワークシート
通年	6	・体育理論  1. スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展	○	○	○	【知】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【態】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
保健	1	1年 食品科学科 1年 生産科学科	現代高等保健体育	現代高等保健体育ノート

### 1 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成すること。

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能、【思】:思考・判断・表現、【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 6	6	〈現代社会と健康〉 ・健康の考え方  ア 国民の健康課題 イ、健康の考え方と成り立ち ウ、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり	○	○	○	【知】 ①国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていることについて理解している。 ②健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることについて理解している。 ③健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることについて理解している。	観察 ワークシート
7 ～ 8	3	・現代の感染症とその予防	○	○	○	【知】 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。	観察 ワークシート
8 ～ 9	5	・生活習慣病などの予防と回復	○	○	○	【知】 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。	観察 ワークシート
9 ～ 10	4	・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	○	○	○	【知】 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。	観察 ワークシート
10 ～ 11	3	・精神疾患の予防と回復	○	○	○	【知】 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気づくことが重要であること、また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。	観察 ワークシート

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
11 ～ 1	7	<安全な社会生活> ・安全な社会づくり  ア 事故の現状と発生要因 イ 安全な社会の形成 ウ 交通安全	○	○	○	<b>【知】</b> ①安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることについて理解している。 ②交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備に関わることについて理解している。 ③交通事故には補償をはじめとした責任が生じることについて理解している。	観察 ワークシート
1 ～ 3	7	・応急手当  ア 応急手当の意義 イ 日常的な応急手当 ウ 心肺蘇生法	○	○	○	<b>【知・技】</b> ①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できることについて理解している。 ②応急手当には、正しい手順や方法があることについて理解している。 ③応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて理解している。 ④心肺蘇生法などの応急手当を適切に行おうとしている	観察 ワークシート

※「現代社会と健康」の単元における思考力・判断力・表現力等については、以下の規準で評価する。

現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連づけて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができている。

※「安全な社会生活」の単元における思考力・判断力・表現力等については、以下の規準で評価する。

安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができている。

※科目:保健における主体的に学習に取り組む態度については、以下の規準で評価する。

生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けようとしている。

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
書道 I	2	1年 食品科学科 1年 生産科学科	新編 書道 I (大修館書店)	高校硬筆練習帳 (大修館書店)

### 1 科目の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	18	書的美を求めて 古典の学び方 さまざまな楷書 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」				【知】:楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思】:楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 【態】:自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品 ・相互鑑賞
5			○	○	○		
6							
7	14	行書 行書の特徴 「蘭亭序」 「祭姪稿」 「風信帖」 三筆、三跡の書				【知】:行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思】:行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 【態】:自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品 ・相互鑑賞
8	4	篆書 篆書の特徴 「泰山刻石」 隸書 隸書の特徴 「曹全碑」 草書 草書の特徴 「書譜」 漢字の書制作				【知】:篆書・隸書・草書の各古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思】:篆書・隸書・草書の各古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 【態】:自身の表現の意図に基づく表現、篆書・隸書・草書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品 ・相互鑑賞
9	10	篆刻の学習 篆刻の用具・用材 姓名印を刻る				【知】:篆刻の用具・用材、手順について理解している。 【思】:印の文字の配列に基づいて構想し工夫して印稿を作っている。 【態】:自身の表現の意図に基づく表現、篆刻の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品
10			○	○	○		

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
11	10	仮名の成立と発展 基本的な筆使い 蓬萊切の鑑賞と臨書 高野切第三種の鑑賞と臨書				【思】: 仮名の古典の書風に即した用筆・運筆, 字形, 全体の構成について構想し工夫している。 【態】: 自身の表現の意図に基づく表現, 仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品
12			○	○	○		
1	14	言葉を表現する 感動や思いを表現しよう 自分の表現を目ざして 漢字仮名交じりの書の表現と鑑賞				【知】: 用具・用材の特徴と表現効果との関わり, 名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思】: 漢字と仮名の調和した字形, 文字の大きさ, 全体の構成, 目的や用途に即した表現形式, 意図に基づいた表現, 名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 【態】: 自身の表現の意図に基づく表現, 漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品 ・相互鑑賞
2			○	○	○		
3							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
英語コミュニケーション I	3	1年 食品科学科 1年 生産科学科	All Aboard! English Communication I	なし

## 1 科目の目標

- ☆日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用する語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、
1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。
  2. 必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
  3. 必要な情報を読み取り、聞き手の意図を把握することができる。
  4. 必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
- ☆日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。
  6. 聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。
- ☆日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、
7. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
  8. 聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
  9. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
  10. 聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

## 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	1	オリエンテーション	○	○	○	【知】:アルファベットや教室で使う英語表現、疑問詞などを正しく使うことができる。 【思】:教室で使う英語表現を正しく認識し、適切に使うことができる。 【態】:教室で使う英語表現を正しく認識し、適切に使おうとしている。	・確認テスト アルファベットや疑問詞などを正しく使っているか。
	3	Warm-Up 1-3					
5	6	Pre-Lesson 1 My Name is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! オレはジャンクフードが好きだ!	○	○	○	【知】:be動詞や一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】:自分の名前・性格・特徴、また自分の好みを相手に伝えることができる。 【態】:自分の名前・性格・特徴、また自分の好みを相手に伝えようとしている。	・ワークシートと活動 be動詞や一般動詞を用いた自己紹介ができているか。
	1	Communication 1		○	○	【思】:効果的な自己紹介ができるように、情報を整理し、相手に伝えることができる。 【態】:効果的な自己紹介ができるように、情報を整理し、相手に伝えようとしている。	・スピーキングテスト 自分自身について情報を伝えることができているか。
6	8	Lesson 1 Breakfast around the World 私の朝ごはん	○	○	○	【知】:動詞の過去形や世界の朝食について理解している。 【思】:自分の好きな食べ物を、理由をそえて相手に伝えることができる。 【態】:自分の好きな食べ物を、理由をそえて相手に伝えようとしている。	・ライティングテスト 好きな食べ物について、理由をそえて相手に伝えることができているか。
	8	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生生物				【知】:進行形(be動詞+～ing)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】:本文を参考に、自分の好きな動物について相手に伝えることができる。 【態】:本文を参考に、自分の好きな動物について相手に伝えようとしている。	・ワークシート 好きな生き物について情報を整理しまとめることができているか。
6 7	8	Lesson 3 Life with Spade 愛馬とともに				【知】:助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】:夏休みの予定を助動詞などを使いながら相手に伝えることができる。 【態】:夏休みの予定を助動詞などを使いながら相手に伝えようとしている。	・スピーキングテスト 自分のことや夏休みの予定などをwillやbe going toを使い話せているか。

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
8 9	10	Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景	○	○	○	【知】:to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】:学んだことを参考に、自分の行きたい場所などをto不定詞を用いて伝えることができる。 【態】:学んだことを参考に、自分の行きたい場所などをto不定詞を用いて伝えようとしている。	・プレゼンテーション(スライドなど) 世界の行ってみたい場所についてまとめて発表することができるか。
	9	Lesson 5 A Dream Engine 博多工業高校自動車工学科	○	○	○	【知】:動名詞(～ing)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】:他の学校が実践していることを参考に、自分の学校をPRすることができる。 【態】:他の学校が実践していることを参考に、自分の学校をPRしようとしている。	・プレゼンテーション(ポスター&スピーキング) 自分の学校を効果的にPRすることができるか。
10	9	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師	○	○	○	【知】:受動態(be動詞+過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】:本文の内容を参考に、自分の好きな絵について紹介することができる。 【態】:本文の内容を参考に、自分の好きな絵について紹介しようとしている。	・ワークシート&グループワーク 理由をそえながら、好きな絵について相手に伝えることができるか。
10 11	10	Lesson 7 A Diary of Hope アンネ・フランク	○	○	○	【知】:比較表現やアンネ・フランクについて理解している。 【思】:本文を参考に、自分に影響を与えた人物について伝えることができる。 【態】:本文を参考に、自分に影響を与えた人物について伝えようとしている。	・ライティング 自分の人生と自分に影響を与えた人物について、時間を意識して書くことができるか。
12	9	Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ	○	○	○	【知】:現在完了形(have/has+過去分詞)の文の形・意味・用法を理解している。 【思】:ロボットカフェの利点と欠点を整理し、自分の意見を述べることができる。 【態】:ロボットカフェの利点と欠点を整理し、自分の意見を述べようとしている。	・エッセーライティング ロボットカフェの利点と欠点を整理し、自分の意見を書くことができるか。
1 2	10	Lesson 9 Ghosts in the Oceans 海にひそむゴースト	○	○	○	【知】:名詞を修飾する分詞の働きや、ゴーストギアの概要を理解できる。 【思】:本文の内容を参考に、環境問題に関して、自分達ができることを伝えることができる。 【態】:本文参考に、環境問題に関して、自分達ができることを伝えることができる。	・スピーキングテスト ゴーストギアの概要と環境問題に関して自分達が取べき行動を伝えることができるか。
2 3	10	Lesson 10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物	○	○	○	【知】:関係代名詞(whoやwhich)を用いた文の形・意味・用法を理解し、沖縄の過去の歴史について整理し、理解している。 【思】:本文の内容を参考に、興味のある海外の国や地域について伝えることができる。 【態】:本文の内容を参考に、興味のある海外の国や地域について伝えようとしている。	・プレゼンテーション(スライド&スピーキング) 興味のある国や地域について、まとめて発表できているか。
3	3	Extra Target 1-3	○	○	○	【知】:自分で知識を深めたい文法事項を整理し、伝えることができる。 【思】:本年度学習した文法事項を用いてオリジナルの物語を作ることができる。 【態】:本年度学習した文法事項を用いてオリジナルの物語を作りろうとしている。	・ライティング(Story Telling) 既習の文法事項を使い、オリジナルの物語を創作することができるか。

☆出席、取り組み状況(個人ワーク、ペアワーク、グループワーク、発表)を特に重視します。1年生では英文を英語の音声の特徴をとらえて読むことを目標としますので、音読練習を重点的に行い、パフォーマンステストを実施します。



科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
家庭総合	2	1年 食品科学科 1年 生産科学科	Creative Living『家庭総合』 で生活をつくらう (大修館書店)	なし

### 1 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

①人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

② 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	5	第1章 人の一生と生活のマネジメント ①生涯、発達し続ける ②子どもからおとなへ ③自立の達成をめざそう ④意思決定を重ねてつくる人生 ⑤どんな生き方をする？		○	○	【知】:人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。  【思】:自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察できる。  【態】:生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート
		第2章 家族・家庭生活のマネジメント ①家族ってなんだろう ②わかってくれて当然？ ③家庭は人生と生活マネジメントの拠点 ④法律から見る家族・家庭 ⑤ダイバーシティの実現をめざす	○	○	○	【知】:各ライフステージの特徴と課題を理解し、自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解を深めることができる。  【思】:家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき責任を持って行動することの重要性について課題を設定し、解決する力を身につけている。  【態】:様々な人々と協働し、青年期の自立と家族・家庭及び社会の課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
6	7	第8章 衣生活のマネジメント ①人と被服のかかわり ②日本と世界の衣文化	○	○	○	【知】:衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めることができる。 ライフステージの特徴や課題に着目し、自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 被服材料、被服校正、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身につけている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
		③被服の保健衛生的機能 ④被服の社会的機能 ⑤被服材料と性能 ⑥被服を長持ちさせる手入れ	○	○	○	【思】:主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた課題を設定し、解決する力を身につけている。  【態】:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
8	4	⑦被服と安全	○			行動観察 ワークシート 単元テスト	
		⑧衣生活のPDCA		○			
9	8	⑨持続可能な衣生活			○		
		⑩被服製作	○		○		
10	8	第9章 住生活のマネジメント ①住まいを知ろう	○	○	【知】:住生活を取り巻く課題,日本と世界の住文化など,住まいと人との関わりについて理解を深めることができる。 ライフステージの特徴や課題に着目し,安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し,住生活の計画・管理に必要な技能を身につけている。		
11	8	②日本の住文化を知ろう	○		○		
12	6	③住む人の生活と住まい	○	○	○		
		④心地よく暮らすために		○	○		
		⑤安全に安心して暮らす	○		○		
1	5	⑥住まいを長く使う		○	○		
		⑦住環境をみつめてみよう		○	○		
2	5	第5章 経済生活のマネジメント ①生活を営むためのお金	○		○	行動観察 ワークシート 単元テスト	
		②経済のしくみを知ろう	○		○		
		③お金と上手につきあう術	○		○		
		④18歳で変わる消費生活	○		○		
		⑤進むキャッシュレス社会	○		○		
		⑥「お金を借りる」ということ	○	○	○		
		⑦消費者トラブルの今	○		○		
		⑧消費者の自立を支援する		○	○		
		⑨情報社会を生きる	○		○		
		⑩私たちが社会を動かす		○	○		
3	4	ホームプロジェクト	○	○	○	行動観察 発表制作物	
					【知】:ホームプロジェクトの意義と実践方法について理解している。 【思】:自己の家庭生活や地域生活と関連付けて生活上の課題を設定し,解決する力を身につけている。 【態】:様々な人々と協働し,ホームプロジェクトについて,課題の解決に主体的に取り組もうとしている。		

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
産業社会と人間	2	1年 食品科学科 1年 生産科学科	なし	なし

### 1 科目の目標

人間の生き方としての探求を通して、職業を選択し、決定する場合に、必要な能力と態度を養うとともに、将来の職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培うことや現実の産業社会やその中で自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を育成することをねらいとしている。

(1) 社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を身につけている(職業と生活)

(2) 我が国の産業の発展とそれがもたらしている社会の変化について考えている(我が国の産業と社会の変化)

(3) 自己の将来の生き方や進路について考え、その実現に向けた履修計画を作成する(進路と自己実現)

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識及び技能 【思】:思考力, 判断力, 表現力等 【態】:学びに向かう力, 人間性等

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	1	オリエンテーション				<b>【知識・技能】</b> ①職業の種類, 特徴や役割, 職業生活について求められる能力や態度を理解している。 ②課題の発見と解決に必要なコミュニケーション, 情報活用, 表現の方法を理解し技能を身に付けている。 ③望ましい勤労観, 職業観を身につけ自らが社会で果たしていく役割について理解している。  <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ①資料や情報を活用し, 仮説を立てた上で物事を検証している。 ②目的に応じて情報収集の手段を選択し, 課題解決を目指して客観的な根拠を基に分析している。 ③学習した内容を振り返り, まとめ, 他者に伝わりやすいよう論理的に説明, 表現している。  <b>【学びに向かう人間性】</b> ①自己を見つめ, 自分の個性や特徴に向き合った上で, 将来的な自己の在り方生き方を考え, 進路実現に取り組もうとしている。 ②多様な意見を受け入れ尊重し, 協働して課題の解決に取り組もうとしている。 ③社会参画・貢献の視点で, 自己の在り方生き方を考えようとしている。	行動観察・ワークシート
	4	基礎力診断テスト①					
5	1	資格取得講習会	①		①		
	2	基礎力診断テスト分析会・Classi講習会	②	①②			
	2	探究活動①		①			
6	4	探究学習②		②			
	2	学びと社会のつながり	③	②	②		
7	3	職業体験活動	①		③		
	6	キャリアステップ		②	①		
8	2	探究学習③	③	②	③		
9	2	進路選択で後悔しないために	②	①③			
	1	地域を担う人材とのトークセッション	①	③	③		
10	4	基礎力診断テスト②					
11	4	探究学習④		②	③		
	1	基礎力診断テスト分析会	②	①			

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	学		
12	5	探究活動⑤		①②		行動観察・ワークシート	
	1						
1	4	探究活動⑥		②			
	4	後輩へのメッセージ	②	③	②		
2	10	探究活動⑦ 調査、中間発表		②			
	2	医療福祉のお仕事相談会	①③				
3	3	校内合同企業説明会	①	③	③		
	2	探究活動⑧		③	②		

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
農業と情報	2	1年 食品科学科 1年 生産科学科	農業と情報 (実教出版)	なし

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用することができる。

- ①農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を活用することができる。
- ②農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決することができる。
- ③農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	2	オリエンテーション	○			行動観察 実技考査 小テスト ファイル	
5		第1章 私たちの生活と農業の情報化			【知】:データと情報, 意思決定の過程と情報社会の発展について理解することができる。		
6	28	1 情報社会における私たちの生活			【思】:メディアリテラシーを身に付ける必要性を理解することができる。		
7		2 情報とメディア			【思】:情報化社会の光と影について考えるとともに, SNSの使い方や, 個人情報の取り扱い, 知的財産権の保護, モラルについて考えることができる。		
8		3 情報社会とモラル	○	○	【態】:農業の情報化の発展とデータ収集を主体的に学習課題に取り組むことができる。		
9		4 農業を支える情報					
10		第2章 社会を支えるコンピュータ			【知】:ハードウェアとソフトウェアの概要について理解することができる。		
11	20	1 コンピュータのしくみ			【知】:データや情報の種類とその表現方法について理解することができる。		
		2 データや情報の表現			【知】:情報通信ネットワークのしくみと特徴について理解することができる。		
		3 情報通信ネットワーク	○	○	【思】:インターネットの概要と検索方法について理解するとともに, 電子メールを適切に利用することができる。		
		4 インターネットのしくみ			【態】:情報社会の脅威と情報管理の重要性について主体的に学習課題について理解することができる。		
		5 情報セキュリティ					

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
12	20	第3章 コミュニケーションと情報デザイン  1 情報表現のためのソフトウェア  2 文書の作成と表現  3 意見発表会原稿作成  4 問題解決の方法	○	○	○	【知】：情報を活用するソフトウェアについて理解することができる。  【知】：文章作成ソフトウェアを利用して文書を作成することができる。  【知】：プレゼンテーションソフトウェアを利用して基本的なプレゼンテーションを行うことができる。  【態】：問題解決と情報利用の方法、アイデアなどを引き出す思考技術を主体的に学習課題について取り組むことができる。	行動観察 定期考査 実技考査 ファイル 小テスト
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>全体を通して</p> <p>年間を通じて、農業と情報の実践的な知識・技術を理解していきます。目まぐるしく変わる情報化社会の問題についても多様に課題として取り入れ、社会で必要となる情報モラルや実践的スキルを身に付けます。他の農業科目と連動し、プロジェクト活動のまとめやプレゼンテーションなどを行い、次年度以降は主体的に課題解決型学習に取り組めるようにしてください。</p> <p>なお、授業は単元ごとではなく、流動的になります。</p> </div>							

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
農業と環境	4	1年 食品科学科	農業と環境 (実教)	なし

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ～ 5	17	オリエンテーション 1 農業と環境を学ぶ 農業学習の特徴 農場見学 農業学習におけるプロジェクト学習 学校農業クラブ活動の目標 学校農業クラブの組織と活動	○	○	○	【知】:農業学習と農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、農業学習の特質、プロジェクト学習及び農業クラブ活動について理解している。  【思】:農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。  【態】:農業学習と農業クラブ活動について興味・関心をもち、農業学習の特質、プロジェクト学習及び農業クラブ活動の学習の課題について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト
5 ～ 12	50	2 栽培と飼育の基礎 生活の中の作物 作物の自然分類 たねと発芽・たねまき 成長の仕組みと管理 作物の繁殖と育種 作付け体系と作型 作物栽培と環境 作物の生育と大気環境 作物の生育を支える土 作物の養分と肥料 作物をとりまく成分	○	○	○	【知】:農業生産や環境保全、栽培環境の管理の関係について理解しているとともに関連する技術を身に付けている。  【思】:農業生産や環境保全、栽培環境の管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。  【態】:農業生産や環境保全、栽培環境の管理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
5 ～ 12	38	<p>3 ダイズのプロジェクト学習</p> <p>プロジェクト計画の立案</p> <p>ダイズの一生</p> <p>おもな形質と形態</p> <p>品種の選定</p> <p>課題の設定</p> <p>栽培計画の作成</p> <p>畑の準備</p> <p>たねの準備</p> <p>たねまきの適期と方法</p> <p>雑草防除</p> <p>中耕・土寄せ</p> <p>病害虫の管理</p> <p>収穫適期の判定</p> <p>収穫と調整</p> <p>プロジェクトのまとめ</p> <p>発表と振り返り</p>	○	○	○	<p>【知】:ダイズ栽培について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思】:ダイズの種類と特性、栽培環境の要素、利用及び計画・管理・評価に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。</p> <p>【態】:ダイズの栽培について興味・関心をもち、播種から収穫までの栽培プロジェクトについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>単元テスト</p>
12 ～ 3	食 35	<p>4 食品製造実習</p> <p>乳製品加工</p> <p>肉製品加工</p> <p>農産製品加工</p>	○	○	○	<p>【知】:食品製造に関する基礎知識を身に付け、安全に製造を行うことができる。</p> <p>【思】:食品製造に関する課題を見つけ、主体的に解決することができる。</p> <p>【態】:食品製造に興味を持ち、課題に対して周りと協同して解決しようとしている。</p>	<p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>単元テスト</p>

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
農業と環境	4	1年 生産科学科	農業と環境 (農文協)	なし

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 年間学習計画

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
4 ~ 5	17	オリエンテーション 1 農業学習と学校農業クラブ活動 農場見学 学校農業クラブ活動について クラス意見発表会 プロジェクト計画発表会 プロジェクト学習について 校内意見発表大会 鑑定競技について 校内技術競技大会 校内実績発表大会	○	○	○	【知】:農業学習と農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、農業学習の特質、プロジェクト学習及び農業クラブ活動について理解している。  【思】:農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。  【態】:農業学習と農業クラブ活動について興味・関心をもち、農業学習の特質、プロジェクト学習及び農業クラブ活動の学習の課題について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート
5 ~ 12	50	2 カボチャ栽培プロジェクト プロジェクトの計画 播種方法について 種子の観察 栽培管理(播種) 種子のはたらきと発芽条件 苗の特性について(観察) 肥料・マルチングについて 栽培管理(定植) つるの特性・展開について(観察) 栽培管理(整枝作業) カボチャの特徵と一生 病気について(観察) 収穫方法について 栽培管理(収穫) 栽培管理(圃場の片づけ) キュアリングと出荷調整について 出荷調整作業 収量調査 果実の構造 プロジェクト学習まとめ	○	○	○	【知】:カボチャ栽培について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。  【思】:カボチャの種類と特性、栽培環境の要素、利用及び計画・管理・評価に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。  【態】:カボチャの栽培について興味・関心をもち、播種から収穫までの栽培プロジェクトについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート 単元テスト スキルテスト

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
5 ～ 12 (食 と 馬 事) ・5 ～ 3 (園 芸)	38	<p>3 第2章 農業生産と環境保全の基礎</p> <p>1 地域環境の成り立ちと役割 地域環境の成り立ちとつながり 森林・草原の生態系の特徴と役割 農耕地の生態系の特徴と役割 河川・水辺の生態系の特徴と役割 都市の生態系の特徴と都市緑地の役割 持続可能な地域の環境・生態系とは</p> <p>2 動植物の営みと栽培・飼育 農業生物の種類と特徴 植物の営みと栽培のしくみ 栽培のおもな技術・作業のポイント 動物の性質・営みと飼育ポイント</p> <p>3 栽培環境とその管理 作物の健全な生育と栽培環境 気象の利用と気象災害の防止 土・肥料の役割と土壌管理 有害生物の総合的な管理 農業における環境問題と環境保全型農業</p>	○	○	○	<p>【知】: 農業生産や環境保全, 動植物, 栽培環境の管理の関係について理解しているとともに関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思】: 農業生産や環境保全, 動植物, 栽培環境の管理に関する課題を発見し, 科学的根拠に基づいて創造的に解決している。</p> <p>【態】: 農業生産や環境保全, 動植物, 栽培環境の管理について自ら学び, 主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート 単元テスト</p>
12 ～ 3 (馬 事)	35	<p>5 馬の生態と飼養管理</p> <p>馬の歴史と進化 馬の性質と取り扱い 馬のライフステージ 馬体名称 厩舎管理について 馬の手入れと飼育 馬の活用法 引き馬 馬の繁殖生理 馬の品種 サラブレッドのルーツ 個体識別</p>	○	○	○	<p>【知】: 馬に関する基礎知識を身に付け, 安全に飼養管理を行おうとしている。</p> <p>【思】: 馬に関する課題を見つけ, 主体的に解決することができる。</p> <p>【態】: 馬に興味を持ち, 課題に対して周りと協同して解決しようとしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート 単元テスト スキルテスト</p>

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
総合実習 (時間内)	2	1年 食品科学科 1年 生産科学科	なし	なし

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ②農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点→【知】:知識・技能 【思】:思考・判断・表現 【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
通年	4 2 13	農業の各分野に関する総合的な実習 実習オリエンテーション 【基礎実習】グループ展開 1 食品加工 (1)食品衛生 (2)乳加工 (3)肉加工 (4)農産加工	○	○	○	【知】:農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	参加態度 実習日誌 レポート ワークシート
	13	2 園芸 (1)作物の栽培と管理 (2)野菜の栽培と管理 (3)草花の栽培と管理				【思】:農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	
	13	3 馬の管理				【態】:よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	
4 5 5 11 6 10	6 4 2 2 4 5 4	【農業クラブ活動】 1 意見発表 (1)HR意見発表会 (2)校内意見発表大会 2 実績発表 (1)プロジェクト計画発表会 (2)プロジェクト発表講習会 (3)校内実績発表大会 3 技術競技 校内技術競技大会 4 収穫感謝祭	○	○	○	【知】:学校農業クラブ活動の組織と内容及び活動の方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	参加態度 記録用紙 発表・協議内容 ワークシート
12 12	1 1	【ガイダンス】 (1)コース選択説明会 (2)研究班選択説明会				【態】:農業学習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	

科目	単位数	学年・学科・類型	使用教科書	副教材
総合実習 (時間外)	1	1年 食品科学科 1年 生産科学科	なし	なし

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ②農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点→【知】:知識・技能,【思】:思考・判断・表現,【態】:主体的に学習に取り組む態度

月	時数	単元名及び学習内容	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			知	思	態		
5 ~ 11	6	農業の各分野に関する総合的な実習 【放課後実習】グループ展開			「農業の各分野に関する総合的な実習」  【知】:農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。  【思】:農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。  【態】:よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	参加態度  実習日誌 (記録用紙)	
		1 食品加工 (1)乳加工 (2)肉加工 (3)農産加工					
		2 園芸 (1)作物の栽培と管理 (2)野菜の栽培と管理					
4 ~ 2	9 7 1	農業クラブに関する総合的な学習 【農業クラブ活動】全体指導	○	○	「農業クラブに関する総合的な学習」  【知】:学校農業クラブ活動の組織と内容及び活動の方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。  【思】:学校農業クラブ活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。  【態】:学校農業クラブ活動について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	レポート  ワークシート	
		1 意見発表					
		2 技術競技 鑑定競技					
	3 実績発表						